

どんぐり村の こみ・すく通信

令和7年7月10日発行 令和7年度第8号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その4> 保護者から学ぶ「農家の仕事」

6月24日(火)には、更別小と上更別小の3年生が合同で、社会科の「農家の仕事」の学習として、更別小近くの吉田農場を訪問しました。対応してくださったのは、保護者の吉田明史さんです。

小麦が育っている畑を見たり農作業で使う機械を見たりする中で、吉田さんが、子ども達からの質問に丁寧に答えてくださいました。子ども達は、トラクターに乗ることもでき、農家の仕事の理解を深めていました。



小麦について熱心に説明してくださった吉田さん

楽しい「移動図書」

上更別小児童のために、毎月2回、更別村図書室から200冊の本を持ち込み、貸し出しをしています。6月27日(金)の「移動図書」でも、中休みの時間に、続々と子ども達が図書室へ。新たな本との出会いを、とても楽しみにしていたことがうかがえました。



地域で学ぶ「更別の小麦」

猛暑となった7月1日(火)、更別中央中学校1年生が、総合的な学習の時間の授業で、校外に出て、地元更別で栽培されている小麦についての学習を深めました。

最初に、昭和区の岡田農場を訪問し、更中卒業生であり「更別プリディクション」代表の岡田昌宏さんに、スマート農業の現状等についての説明をしてもらいました。その後、暑い中での説明となったので、畑の上空にドローンを飛ばしての映像の確認は、バスの中のスクリーンで確認することになりました。

小麦(きたほなみ)についての説明は、岡田さん宅の小麦畑に直接出向き、穂の生育状況をしっかりと見ながらの説明となりました。ここでも、生徒達は、暑さにも負けずに、積極的に質問をして、熱心にメモをとったり写真を撮ったりしていました。



畑の上空を飛んだドローン

続いて、更別農業高校の圃場へ移動し、農業科の生徒から、小麦(スペルト小麦)についての説明を受けました。小麦の穂の形や実の色を直接確認しながら話を聞くことができ、岡田農場の「きたほなみ」との違いを、はっきりと見分けることができました。説明の後、小麦畑で生育状況を直接観察することができ、リアルで記憶に残る学習ができました。



終了後に、説明をした高校生に話を聞くと、「言葉を選びながら、寄り添うように話すことを心がけた」という言葉が返って来ました。その心遣いは、中学生に届いていたのではないかと思います。